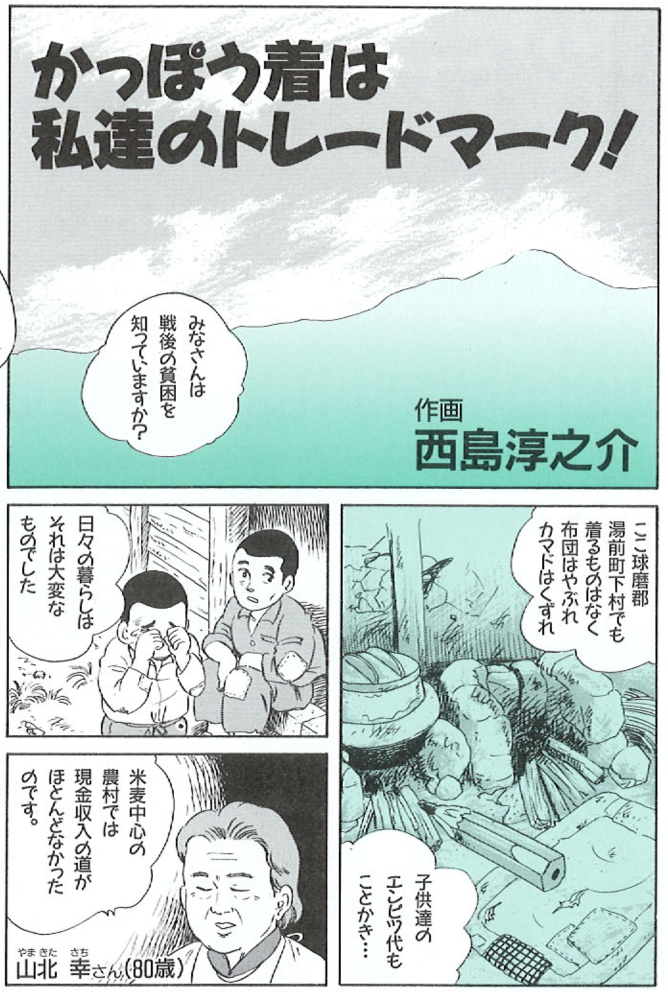
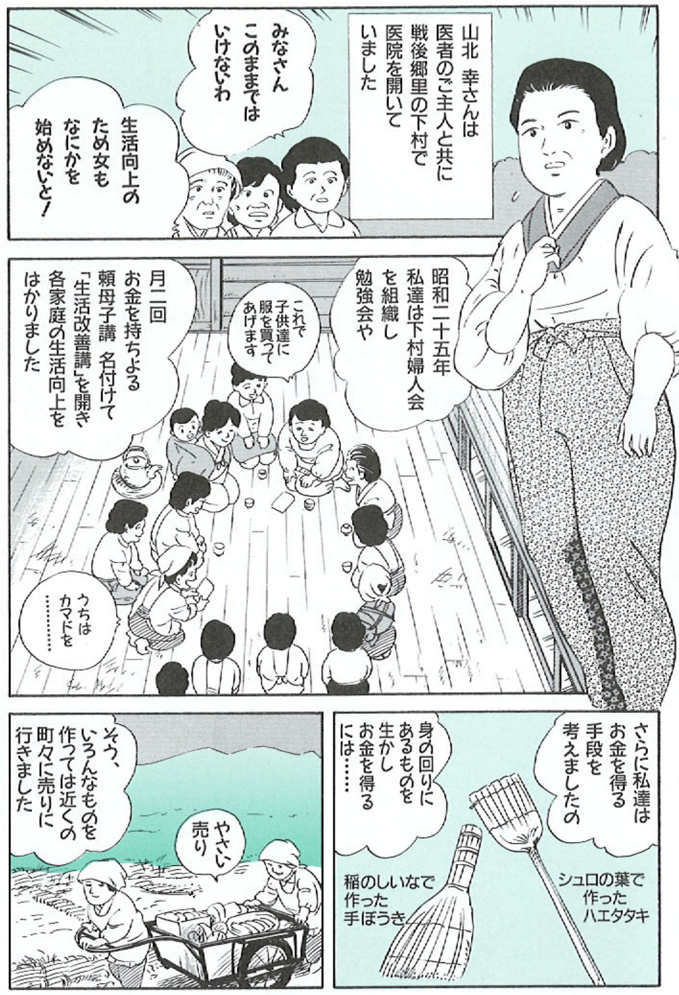
かっぽう着は私達のトレードマーク!

作画
西島淳之介

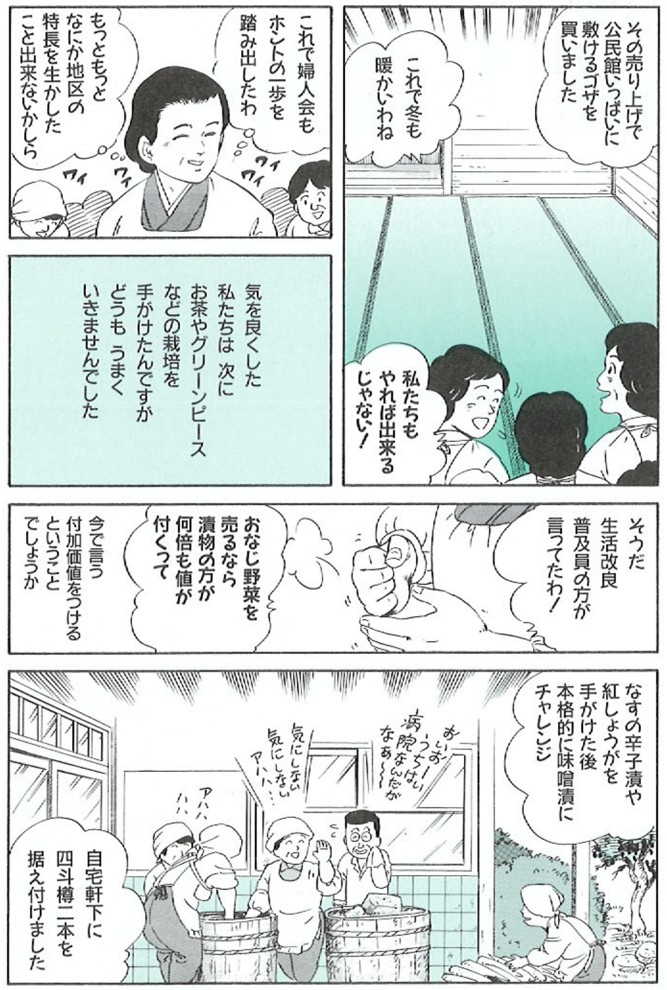
①


みなさんは戦後の貧困を知っていますか?
ここ球磨郡湯前町下村でも着るものはなく布団はやぶれカマドはくずれ
子供達のエンピツ代もことかき…
日々の暮らしはそれは大変なものでした
米麦中心の農村では現金収入の道がほとんどなかったのです。
山北（やまきた） 幸（さち）さん(80歳)

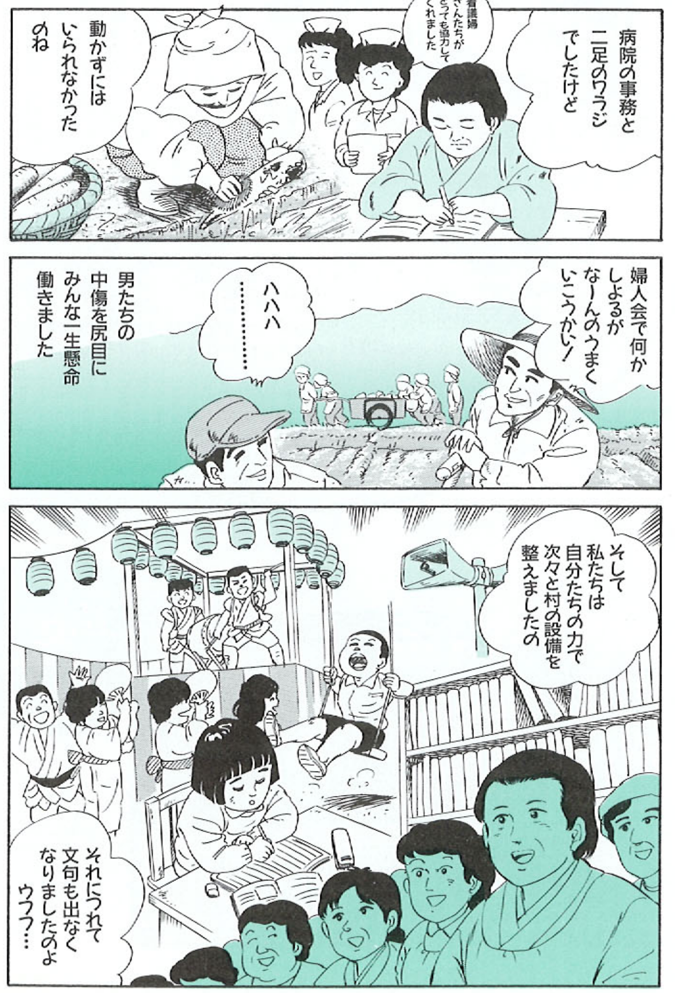
②


山北 幸さんは医者のご主人と共に戦後郷里の下村で医院を開いていました
みなさんこのままではいけないわ
生活向上のため女もなにかを始めないと!
昭和二十五年私達は下村婦人会を組織し勉強会や
これで子供達に服を買ってあげます
月二回お金を持ちよる頼母子講 名付けて「生活改善講」を開き各家庭の生活向上をはかりました
うちはカマドを…………
さらに私達はお金を得る手段を考えましたの
身の回りにあるものを生かしお金を得るには……
シュロの葉で作ったハエタタキ
稲のしいなで作った手ぼうき
そう、いろんなものを作っては近くの町々に売りに行きました
やさい売り

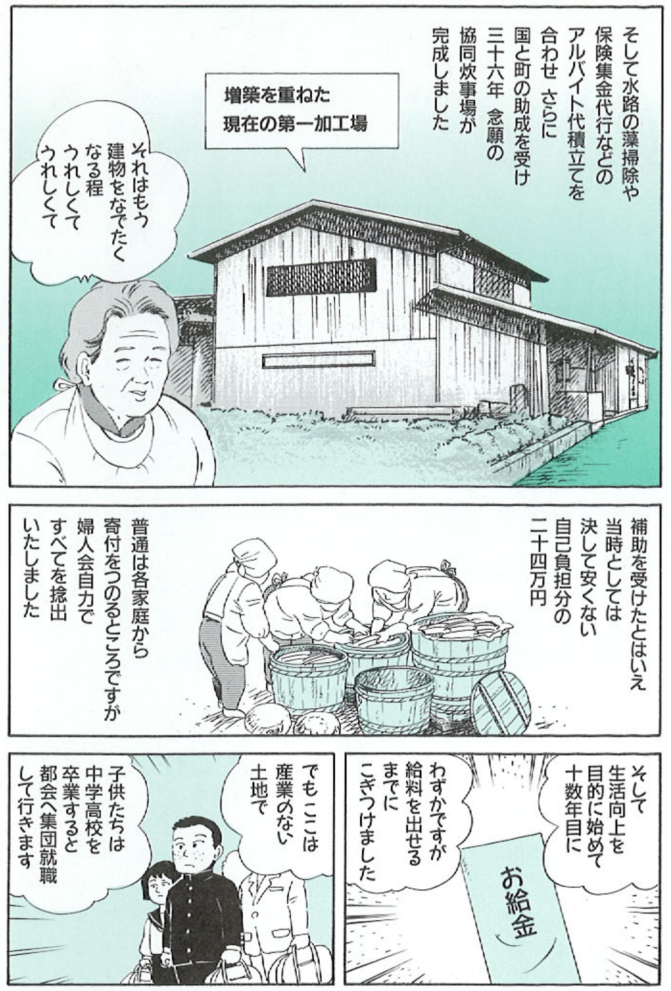
③


その売り上げで公民館いっぱいに敷けるゴザを買いました
これで冬も暖かいわね
私たちもやれば出来るじゃない!
これで婦人会もホントの一歩を踏み出したわ
もっともっとなにか地区の特長を生かしたこと出来ないかしら
ワイ ワイ
ワイ ワイ
気を良くした私たちは 次にお茶やグリーンピースなどの栽培を手がけたんですがどうも うまくいきませんでした
そうだ生活改良普及員の方が言ってたわ!
おなじ野菜を売るなら漬物の方が何倍も値が付くって
今で言う付加価値をつけるということでしょうか
なすの辛子漬や紅しょうがを手がけた後本格的に味噌漬にチャレンジ
おいおい うちは病院なんだがなあ〜
気にしない気にしない アハハ…
アハハ ハハ
自宅軒下に四斗樽二本を据え付けました

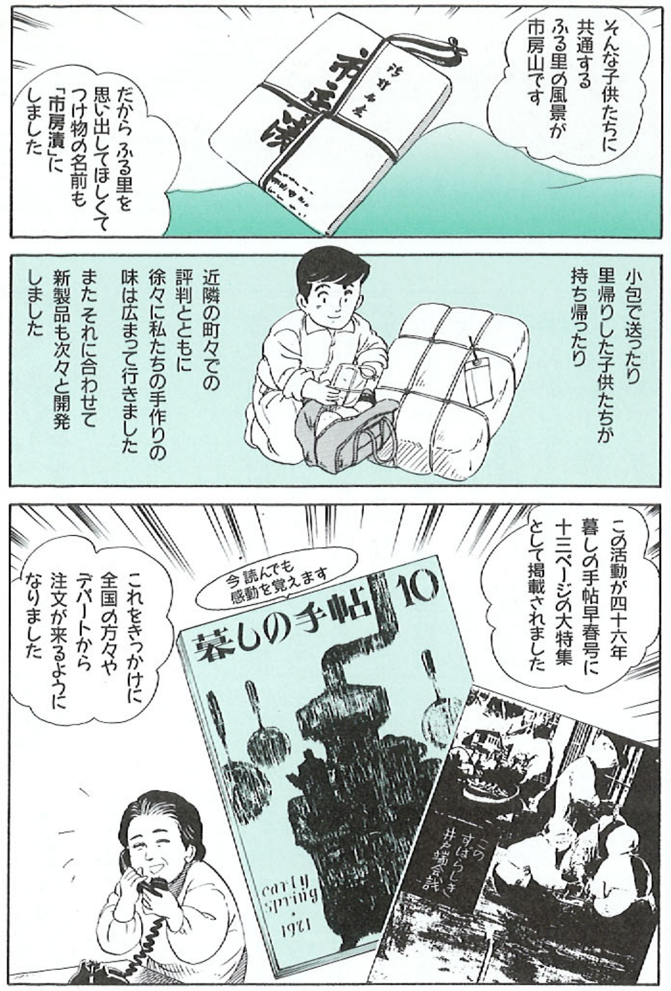
④


病院の事務と二足のワラジでしたけど
看護婦さんたちがとっても協力してくれました
動かずにはいられなかったのね
婦人会で何かしよるがなーんのうまくいこうかい!
ハハハ…………
男たちの中傷を尻目にみんな一生懸命働きました
そして私たちは自分たちの力で次々と村の設備を整えましたの
それにつれて文句も出なくなりましたのよ ウフフ…

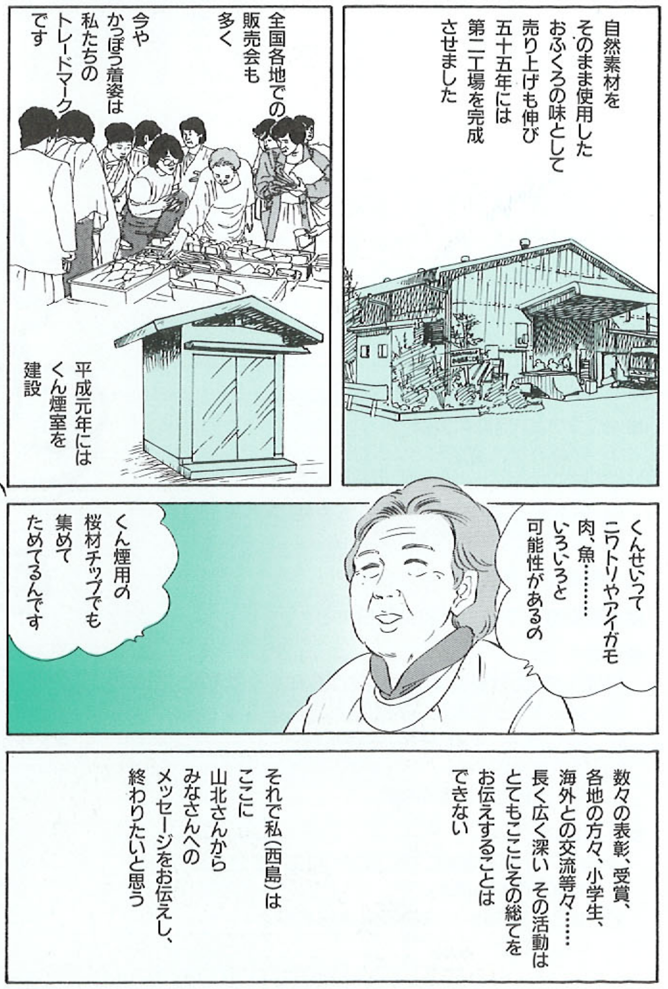
⑤


そして水路の藻掃除や保険集金代行などのアルバイト代積立てを合わせ さらに国と町の助成を受け三十六年 念願の協同炊事場が完成しました
増築を重ねた現在の第一加工場
それはもう建物をなでたくなる程うれしくてうれしくて
補助を受けたとはいえ当時としては決して安くない自己負担分の二十四万円
普通は各家庭から寄付をつのるところですが婦人会自力ですべてを捻出いたしました
そして生活向上を目的に始めて十数年目に
わずかですが給料を出せるまでにこぎつけました
お給金
でもここは産業のない土地で
子供たちは中学高校を卒業すると都会へ集団就職して行きます

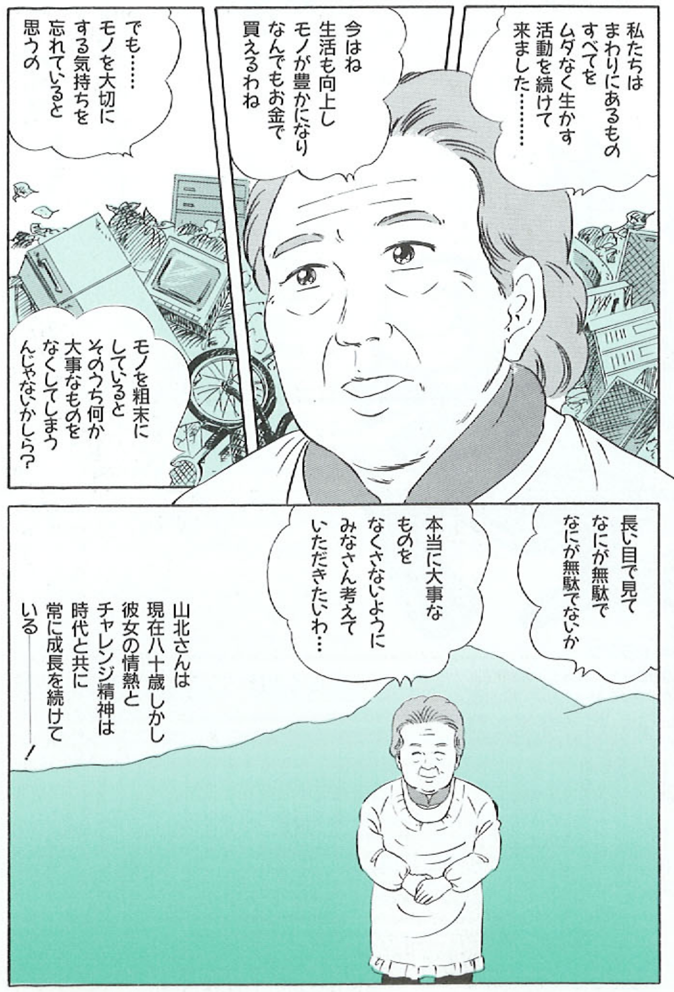
⑥


そんな子供たちに共通するふる里の風景が市房山です
市房漬
だからふる里を思い出してほしくてつけ物の名前も「市房漬」にしました
小包で送ったり里帰りした子供たちが持ち帰ったり
近隣の町々での評判とともに徐々に私たちの手作りの味は広まって行きました またそれに合わせて新製品も次々と開発しました
この活動が四十六年暮しの手帖早春号に十三ページの大特集として掲載されました
今読んでも感動を覚えます
暮しの手帖 10
early spring 1971
このすばらしき井戸端会議
これをきっかけに全国の方々やデパートから注文が来るようになりました

⑦


自然素材をそのまま使用したおふくろの味として売り上げも伸び五十五年には第二工場を完成させました
全国各地での販売会も多く
今やかっぽう着姿は私たちのトレードマークです
平成元年にはくん煙室を建設
くんせいってニワトリやアイガモ肉、魚………いろいろと可能性があるの
くん煙用の桜材チップでも集めてためてるんです
数々の表彰、受賞、各地の方々、小学生、海外との交流等々…… 長く広く深い その活動はとてもここにその総てをお伝えすることはできない
それで私(西島)はここに山北さんからみなさんへのメッセージをお伝えし、終わりたいと思う

⑧


私たちはまわりにあるものすべてをムダなく生かす活動を続けて来ました………
今はね生活も向上しモノが豊かになりなんでもお金で買えるわね
でも……モノを大切にする気持ちを忘れていると思うの
モノを粗末にしているとそのうち何か大事なものをなくしてしまうんじゃないかしら?
長い目で見てなにが無駄でないか
本当に大事なものをなくさないようにみなさん考えていただきたいわ…
山北さんは現在八十歳しかし彼女の情熱とチャレンジ精神は時代と共に常に成長を続けている——!